



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.ims.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	28,147	7.2	523	—	430	200.9	288	296.1
27年3月期第2四半期	26,249	2.1	46	△76.5	143	△67.8	72	△63.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △129百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 210百万円 (△71.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	5.91	—
27年3月期第2四半期	1.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	60,216	31,195	51.6
27年3月期	60,452	31,530	52.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 31,088百万円 27年3月期 31,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	58,000	4.7	700	84.7	800	114.3	500	259.5
								10.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	49,466,932 株	27年3月期	49,466,932 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	717,762 株	27年3月期	712,214 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	48,752,130 株	27年3月期2Q	48,761,958 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療市場の成長が続き、現地及び各国メーカーによる競争も激化しています。また、国内においては、医薬品医療機器等法が制定され、異業種からの新規市場参入が加速するとともに医療機器に対する安全性や品質等への要求が一層強まる一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、薬価・材料価格を引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「かけがえのない生命のために」という創業精神に基づき、「医療の安全」、「医療の効率化」、「再生医療」、「医療を必要とする方のQOL (Quality of Life)の向上」をテーマに掲げ、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ18億98百万円増加の281億47百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

利益につきましては、販売費の増加があるものの、増収の効果により営業利益は、前年同四半期に比べ4億77百万円増加の5億23百万円となりました。また、持分法による投資利益を計上した一方で、為替差損を計上したこと等により、経常利益は4億30百万円（前年同四半期比200.9%増）となり、固定資産売却益や税金費用等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億88百万円（前年同四半期比296.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

白血球除去フィルター付血液バッグの販売開始に加え、人工心肺装置の販売が増加したため、売上高は202億58百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。また、セグメント損益については、増収の効果があるものの、たな卸資産廃棄損の計上等により、前年同四半期に比べ16百万円減少の2億6百万円の損失となりました。

②東南アジア

北米向けの成分献血用回路の販売が好調に推移したため、売上高は101億94百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。また、セグメント利益については、増収の効果により黒字となり、前年同四半期に比べ5億14百万円増加の4億24百万円となりました。

③中国

中国国内向けのAVF針（血液透析用針）の販売が減少したものの、円貨換算額の増加により売上高は19億91百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。また、セグメント損益については、円建て売上取引にかかる利益の減少により、前年同四半期に比べ1億47百万円減少の36百万円の損失となりました。

④ドイツ

オーストラリア向けの透析チェアーの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は16億4百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入金額増加により1億35百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。

⑤アメリカ

中南米向けのAVF針の販売が増加したため、売上高は15億93百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。また、セグメント利益については、販売費の増加があるものの、増収の効果により56百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

⑥その他

売上高は9億57百万円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント損益については、前年同四半期に比べ1億71百万円減少の1億15百万円の損失となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少の602億16百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億60百万円減少の326億70百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ15億24百万円増加の275億46百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の増加であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18億23百万円減少の187億86百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19億21百万円増加の102億34百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億34百万円減少の311億95百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は0.4ポイント低下の51.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ7億67百万円増加の41億11百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ3億72百万円増加の15億22百万円となりました。この主な要因は、たな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ18億2百万円増加の31億80百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ4億1百万円減少の12億17百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、平成28年3月期通期の業績予想数値につきましては、平成27年5月8日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,711	4,113
受取手形及び売掛金	16,233	15,310
商品及び製品	6,863	6,975
仕掛品	2,342	2,237
原材料及び貯蔵品	3,254	3,203
その他	1,120	922
貸倒引当金	△94	△92
流動資産合計	34,431	32,670
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,464	7,475
その他（純額）	13,590	14,879
有形固定資産合計	21,055	22,354
無形固定資産		
	627	560
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,341	4,634
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,337	4,630
固定資産合計	26,021	27,546
資産合計	60,452	60,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,264	7,650
短期借入金	4,770	3,900
1年内返済予定の長期借入金	1,627	1,997
未払法人税等	54	75
製品保証引当金	9	9
賞与引当金	1,094	1,105
資産除去債務	21	21
その他	4,767	4,027
流動負債合計	20,609	18,786
固定負債		
長期借入金	6,374	8,301
役員退職慰労引当金	85	80
退職給付に係る負債	675	658
資産除去債務	236	234
その他	940	959
固定負債合計	8,312	10,234
負債合計	28,922	29,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,253	12,347
自己株式	△277	△279
株主資本合計	29,749	29,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528	609
為替換算調整勘定	1,140	637
その他の包括利益累計額合計	1,668	1,247
非支配株主持分	112	107
純資産合計	31,530	31,195
負債純資産合計	60,452	60,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	26,249	28,147
売上原価	19,804	20,998
売上総利益	6,444	7,149
販売費及び一般管理費	6,398	6,625
営業利益	46	523
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	111	186
その他	68	82
営業外収益合計	198	293
営業外費用		
支払利息	51	66
為替差損	27	166
たな卸資産廃棄損	—	140
支払手数料	10	1
その他	12	12
営業外費用合計	101	386
経常利益	143	430
特別利益		
固定資産売却益	11	74
投資有価証券売却益	156	—
特別利益合計	168	74
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産廃棄損	15	27
特別損失合計	18	27
税金等調整前四半期純利益	292	477
法人税、住民税及び事業税	167	95
法人税等調整額	42	90
法人税等合計	209	185
四半期純利益	83	291
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	288

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	83	291
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6	81
為替換算調整勘定	119	△502
退職給付に係る調整額	0	—
その他の包括利益合計	126	△421
四半期包括利益	210	△129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192	△124
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	292	477
減価償却費	1,209	1,311
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22	43
受取利息及び受取配当金	△19	△24
支払利息	51	66
為替差損益(△は益)	28	179
持分法による投資損益(△は益)	△111	△186
固定資産売却損益(△は益)	△8	△74
固定資産廃棄損	15	27
投資有価証券売却損益(△は益)	△156	—
売上債権の増減額(△は増加)	895	793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△421	△126
仕入債務の増減額(△は減少)	△338	△572
未払消費税等の増減額(△は減少)	△82	△55
その他の流動資産の増減額(△は増加)	139	△67
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△74	△164
その他	11	△13
小計	1,455	1,613
利息及び配当金の受取額	61	24
利息の支払額	△38	△63
法人税等の支払額	△328	△52
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	1,522

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,156	△3,247
有形固定資産の売却による収入	12	147
無形固定資産の取得による支出	△49	△36
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	243	—
その他	△426	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,377	△3,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,302	9,393
短期借入金の返済による支出	△9,066	△10,273
長期借入れによる収入	3,324	3,100
長期借入金の返済による支出	△744	△805
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△195	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,619	1,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,347	△598
現金及び現金同等物の期首残高	1,995	4,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,343	4,111

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,291	4,331	759	1,646	1,346	25,375	873	26,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,045	4,302	1,137	2	—	7,487	—	7,487
計	19,336	8,634	1,897	1,648	1,346	32,863	873	33,736
セグメント利益 又は損失(△)	△189	△90	111	187	50	69	55	125

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	69
「その他」の区分の利益又は損失(△)	55
セグメント間取引消去	△163
持分法投資利益又は損失(△)	110
その他の調整額	69
四半期連結損益計算書の経常利益	143

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,103	5,114	775	1,604	1,593	27,190	957	28,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,155	5,080	1,216	0	—	8,452	—	8,452
計	20,258	10,194	1,991	1,604	1,593	35,643	957	36,600
セグメント利益 又は損失(△)	△206	424	△36	135	56	373	△115	257

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	373
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△115
セグメント間取引消去	△3
持分法投資利益又は損失(△)	186
その他の調整額	△10
四半期連結損益計算書の経常利益	430